

横浜市中期計画2022～2025（財政運営編）

～財政ビジョンに基づく「施策の推進と財政の健全性の維持の両立」～



債務ガバナンスの徹底による中長期的な視点に立った債務管理

- 計画的・戦略的な市債活用と残高管理
- 計画的・戦略的な投資管理の推進
- 特別会計・企業会計等の更なる健全化の推進

■ 一般会計が対応する借入金残高
現状：3兆1,312億円 ⇒ 目標：3兆100億円以下



戦略的・総合的な取組による財源の安定的・構造的な充実

- 戦略的なまちづくりによる財政基盤の強化
- 市税収入の安定的な確保
- 本市へのふるさと納税の推進

■ 市税収納率
現状：99.3% ⇒ 目標：99.4%

■ 未収債権額（一般会計・特別会計）
現状：202億円 ⇒ 目標：170億円



資産の総合的なマネジメント(ファシリティマネジメント※)の推進

- 資産の戦略的利活用による価値の最大化
- 公共施設の適正化（機能・サービスは維持向上）

※ 土地や建物等の保有資産を経営資源として捉えて、「資産価値の最大化」と「施設サービスの向上」を目指す経営活動

■ 未利用等土地の適正化
現状：総面積約100ha ⇒ 目標：うち12haを適正化（4か年）

■ 公共施設の適正化に向けた「個別施設計画」の改定
現状：0/31計画 ⇒ 目標：31/31計画



歳出ガバナンスの強化による効率的で効果的な予算編成・執行

- 収支不足の解消に向けた歳出改革の推進
- 財源確保の徹底

■ 減債基金の臨時的な活用上限額
現状：200億円（R4） ⇒ 目標：500億円（R5～7）



市民の共感を生み出す情報発信と課題提起

- わかりやすく、利活用しやすい財政情報の公表・共有
- 地方税財政制度の充実に向けた課題提起

■ ：主な指標（財政責任条例 第4条に基づく目標）
● ：主な取組（同 第5条に基づく取組）